

# 令和7年度 学校評価アンケートの結果報告について

一宮市立向山小学校  
太田 暢子

日頃より、本校の教育活動に温かいご支援とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。さて、先日実施いたしました「学校教育活動に関するアンケート」の集計結果がまとまりましたので、昨年度との比較を交えてご報告いたします。

## 【全体概要：9割を超える肯定的評価】

全22項目のうち18項目において、「A：そう思う」と「B：ややそう思う」を合わせた肯定的評価の合計が90%を超えました。多くの保護者の皆様が、学校の取り組みや子どもたちの様子を概ね前向きに受け止めてくださっており、深く感謝申し上げます。

### 1. 「命を大切に作る心」への評価について

「20 お子さんは、自他ともに命を大切にしようとしている」という項目において、「そう思う」と「ややそう思う」を合わせた合計の割合が、昨年度の97%から上昇し、今年度は100%となりました。互いを尊重する心が育まれていることの表れと捉えています。

### 2. 「相談対応」と「教職員の姿勢」への信頼について

以下の2項目については、全体の肯定率は96%と高い水準を維持しつつ、内訳としての「そう思う」という肯定的評価が大幅に増加しました。

- ・ 9 相談への対応：「そう思う」単独の割合が49%から61%へ（+12ポイント）
- ・ 15 教職員の対応：「そう思う」単独の割合が57%から65%へ（+8ポイント）

これは、「ややそう思う」と感じていた皆様が、「そう思う」と評価を上げてくださった結果であり、学校として大変励みになります。

### 3. 「あいさつ」についての課題

多くの項目で数値が向上または維持される中、「18 お子さんは、あいさつができる」については、「そう思う」と「ややそう思う」の合計の割合が83%から80%へと減少しました。これは全項目の中でも低い数値となっております。学校でも引き続き指導を行いますが、ご家庭でも「自分から進んで」「元気よく」あいさつができるよう、お声かけをお願いいたします。

# 令和7年度 学校評価・保護者アンケート結果

多くのご意見・ご要望をいただきました。皆様からいただいたご意見・ご要望は、より良い学校にしていくために、参考にさせていただきます。

## ■確かな学力

### 【保護者の皆様の声】

- 社会科の新聞作り、授業のふりかえりを自分で考えてまとめる取り組み、読書やテスト前の自主勉強など、字や文章に触れる機会が増える活動に感謝している。
- 校外学習でのスーパーのバックヤード見学は、お店の工夫や仕組みへの理解が深まり、すごく良い経験になった。
- 本読み計算、ひらがな・漢字・数字の丁寧なチェック、書き取りの細かな指導のおかげで、文字が整い学習面での伸びを実感しており、親として助かっている。
- 先生の温かい声かけや宿題の直し、忙しい中での丁寧な書き取りチェックに感謝している。
- 漢字の書き方や画数がままならないので、一日一文字でも構わないので向山タイムなどで覚えるようにしてほしい。
- たまに厳しすぎて、「どこが間違ってるの？」と子どものやる気がなくなる時がある。
- 金土日遊び中心で中学の学習が心配。
- 高学年なので、宿題はもっと出していただいても良いと思う。
- 宿題が負担になっている。
- 親が宿題を見るだけでなく、赤丸を付けなければいけないのが手間である。
- テスト返却時、100点でも無言ではなく、先生からの「おめでとう」「頑張ったね」の一言があれば励みになると思う。
- タブレット学習は中学年から十分。
- 「秋見つけ」で拾ってきたどんぐり等をその後どうすればよいか連絡がないため、未だに捨てるに捨てられずにいる。

### 【確かな学力にかかわる今後の取り組みについて】

先日のアンケートでは、温かい励ましのお言葉とともに、お子さんの学びに関する貴重なご意見を多数いただきました。皆様から寄せられた課題点について、学校としての考え方と今後の方針をお伝えいたします。

#### 1. 基礎・基本の定着と個に応じた指導

漢字の筆順や細かな定着についてのご要望をいただきました。「一日一文字でも確実に」というお声を受け止め、朝の「向山タイム」や習熟の時間において、個々のペースに合わせた繰り返し練習の時間をより大切にしていきます。また、指導が厳しすぎてお子さんの意欲を削いでしまうことがないように、単に間違いを指摘するだけでなく、「どこまでできているか」を認め、お子さんが自力で修正できるような、前向きな言葉添えに努めてまいります。

## 2. テストの返却と意欲の向上

テスト返却時の対応について、「一言の励ましがほしい」という大切な視点をいただきました。点数という結果だけでなく、そこに至るまでの頑張りを認め、お子さんが次の目標に向かえるよう、「よく頑張ったね」等の温かなコミュニケーションを教職員一同、改めて意識してまいります。

## 3. 家庭学習（宿題）のあり方と中学校への接続

宿題の分量につきましては、「もっと増やしてほしい」というご要望と「負担が大きい」という切実なお声の両方をいただいております。高学年においては、中学進学を見据えた学習習慣の確立を目指しつつ、一律の量で縛るのではなく、お子さんの状況に合わせて選択できるプラスアルファの自主学習を提示するなど、無理なく、かつ意欲的に取り組めるバランスを検討してまいります。

ご家庭での丸付けは、お子さんが「自分の間違いにその場で気づき、すぐに直す」という良好な学習サイクルを身につける上で非常に効果的です。特に低学年の時期は、正しい学習習慣を形成し、自立して学習に取り組めるようになるための極めて大切なステップとなります。保護者の皆様のご負担も重々承知しておりますが、お子さんの確かな学力の基盤づくりのため、引き続き温かいご協力をお願い申し上げます。学校におきましても、一人ひとりの習熟度を丁寧に確認し、きめ細やかな支援に努めてまいります。

## 4. ICT（タブレット）活用の運用について

タブレット学習の開始時期のご懸念について。本校では「書くこと・考えること」の充実を土台とした上で、ICTを「文房具」の一つとして効果的に活用していきたいと考えております。個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実をめざして、活用を進めていきたいと考えております。

---

## ■豊かな心

### 【保護者の皆様の声】

- 学校へ行くことをすごく楽しみにしており、毎日楽しそうに充実している様子を見て安心している。休日には「先生に会えないのが寂しい」と言うほど、担任の先生を慕い、学校生活を満喫している。
- 行事前の不安や、新しい環境への不安からくる行き渋りに対しても、おおらかに受け入れ寄り添ったフォローをしてくださったおかげで、自分のペースで安心して学校に通えるようになった。
- 子どものことをよく見て、心配事にも親身かつ丁寧に对应してくださる先生がしっかりとクラスをまとめてくださっているおかげで、親としても安心してお任せできている。
- 友達との関係も良好でクラスの雰囲気も良く、友達と遊ぶ機会が増えたことに感謝している。
- 友だちとのトラブルの際も早急な連絡や丁寧な相談対応をいただき、座席の配慮など速やかに対処していただいたおかげで、トラブルを根に持つことなく過ごせている。

- 生き物を飼うことで命の大切さを学び、将来の夢を持つきっかけになった。お弁当の日の手紙など、心温まる対応も非常に嬉しく感動した。
- 友達関係で悩んだり困ったりすることが増えてきているため、可能な限り見守ってほしい。
- 何かあった際に、すぐに叱るのではなく、まずは「どうしたの？」と本人の言い分を聞いてあげてほしい。
- 困りごとを相談しても、軽くあしらわれたように感じて相談をためらってしまうことがあるため、真摯に話を聞いてもらえる体制を望んでいる。

## 【豊かな心にかかわる今後の取り組みについて】

アンケートでは、お子さんが学校を楽しみ、先生との絆を深めている様子を多くお寄せいただき、教職員一同、何よりの励みとなっております。一方で、友人関係の悩みや、学校への相談のしやすさについて、大切な課題もいただいております。

### 1. お子さんの心に寄り添う対話

「まずは話を聞いてほしい」という切実なお声を真摯に受け止めております。何かトラブルや困りごとがあった際、大人の基準ですぐに指導や叱責をするのではなく、まずはお子さんの言い分や揺れ動く気持ちに耳を傾ける「待つ指導」を大切にまいります。「先生は自分の味方だ」と思える信頼関係を基盤に、安心して本音を話せる環境づくりに努めます。

### 2. 友人関係の見守りと迅速な対応

成長段階とともに変化する友人関係の悩みについても、可能な限り細やかに見守ってまいります。トラブルが起きた際の迅速な共有はもちろん、日常の些細な変化にも気づけるよう、複数の教職員で連携してお子さんの様子を注視します。また、ご相談いただいた際には、あしらわれたと感じさせることのないよう、一つひとつの声を重く受け止め、丁寧に対話を重ねてまいります。

### 3. 命の教育と感謝の心を育てる

生き物の飼育を通じた「命の教育」や、行事を通じた心の交流など、情操教育への温かい評価をありがとうございます。今後も、夢を持てるようなきっかけづくりや、ご家庭とのつながりを感じられるような心温まる教育活動を継続してまいります。

## ■健やかな体

### 【保護者の皆様の声】

- 室内で遊ぶことが多かったが、友達に誘われてドッジボールや鬼ごっこでよく体を動かすようになり、楽しかったと生き生き話す姿を嬉しく思っている。
- 中間放課や昼放課に先生が子ども達と一緒に外遊びをしてくださり、運動が大好きになった。

- 近年子ども達の体力が落ちている気がするので、部活を復活させてほしい。
- 20分放課の縄跳びについて、参加の自由はどのようになっているのか、苦手な子がどのように感じているのか気になった。
- 給食の時間が短すぎてもっと長くしてほしい。
- 保健室は朝から開けていてほしい。
- 熱中症対策として、真夏の一斉下校に全員を外で並ばせるのではなく、前後半に分けたり、影のある場所で待機させたりする工夫をしてほしい。
- ランドセルが重くて登下校が心配なので、毎日の持ち物を少しでも減らしてほしい。

## 【健やかな体の育成にかかわる今後の取り組みについて】

アンケートでは、お子さんが外遊びを通して運動を好きになったという嬉しいお声をいただく一方で、登下校の負担や熱中症対策など、健康・安全面での切実なご意見をいただきました。学校としての現在の考え方と、今後の改善策についてお伝えいたします。

### 1. 運動機会の確保と行事の工夫

外遊びで生き生きと過ごすお子さんの姿をお知らせいただき、教職員一同大変嬉しく思います。

部活動の完全な復活は社会情勢や教職員の働き方改革により、現時点では困難ですが、放課後や休み時間に体を動かせる環境づくりを継続してまいります。

20分放課の縄跳び等は、体力の増進とともに「達成感」を味わうことを目的としています。一方で、苦手なお子さんに無理を強いることがないように、個々の意欲に合わせた目標設定や、参加の仕方に配慮してまいります。

### 2. 安心・安全な登下校と熱中症対策

真夏の一斉下校時の対応について、貴重なご提案をありがとうございます。本校は児童数が多く、全員が日陰で待機することは物理的に困難な状況にあります。そのため、今後は集合から下校までの動きをより円滑にし、速やかに整列して短時間で下校できるよう、児童への指導を徹底してまいります。外での待機時間を最小限に抑えることで、お子さんの健康と安全を最優先に考えた運用に努めてまいります。

荷物の軽量化について、ランドセルの重さによる負担を軽減するため、家庭学習で使用しない教科書や資料については、学校に置いて帰る「置き勉」をより柔軟に、かつ具体的に指導してまいります。また、リュックの利用も可能です。状況に合わせてご検討ください。

### 3. 学校生活の運用（給食・保健室）

愛知県「学校給食の管理と指導」では小学校の給食は、準備・会食・片付けを含めて50分とるのが望ましいとされています。本校でも、給食時間は50分としています。準備や

片付けの手順を効率化し、お子さんが落ち着いて、味わって食べられる時間を少しでも長く確保できるよう各学級で工夫してまいります。

朝の登校時からのお子さんの体調管理について、ご心配の声をいただきありがとうございます。本校職員の勤務時間は午前 8 時 20 分から午後 4 時 50 分となっており、誠に恐縮ながら勤務開始前の保健室の開室はいたしかねます。

万が一、開室前に体調が悪くなってしまった場合には、職員室にて教職員が責任をもって対応させていただきます。お子さんの登校時の体調変化に柔軟に対応できるよう、教職員間の連携を深め、安全な受け入れ体制の充実に努めてまいります。何卒ご理解とご協力をお願い申し上げます。

---

## ■信頼される学校づくり

### 【保護者の皆様の声】

- tetoru の配信は出先でも確認でき、紙より便利なため重宝している。事前に欠席連絡をした際、担任から給食停止の確認の電話をもらうなど親切に対応してもらった。
- 予定表や年間行事予定、学年だよりなどは、デジタルだけでなく印刷物（紙）でも頂きたい。
- tetoru のお知らせが、大切なものから案内的なものまで混じって送られてくるので分かりにくい。
- 登下校が安全な環境であることに感謝しているが、通学班のマナーが悪く、班長や見守りボランティアの負担が大きい。トラブルも多いため、集団か個別登校かを選べるようにしてほしい。
- パスポートの着用が徹底されておらず、確認しない人も多いため安全面に不安がある。
- 来校者に対して無防備すぎる。職員室をロックするまで誰も反応しない。
- 教員の盗撮問題について、どのような調査や対策をしているか現状を公表してほしい。
- 運動会の半日実施を今後も続けてほしいという意見と、そろそろ 1 日行事に戻してもいいのではないかという意見がある。
- 運動会でソーラン節がなくなったことやリレーがないこと、野外教育活動が簡素化されているのが残念。
- 学校公開で、授業だけでなく放課や給食などの過ごし方も見られるようになると嬉しい。

### 【信頼される学校づくりにかかわる今後の取り組みについて】

今回のアンケートでは、学校運営の根幹に関わる貴重なご提言をいただきました。皆様との信頼関係をより確かなものにするため、以下の通り方針をお伝えいたします。

## 1. 情報発信の最適化（デジタルと紙の使い分け）

tetoru の活用へのご理解ありがとうございます。一方で、予定表など「常に手元で確認したい情報」については紙での配布を望む声を多くいただきました。

年度当初に配付する「年間行事予定表」につきましては、ご家庭で年間を通していつでも確認いただけるよう、従来通り「紙」で配付させていただきます。その他の学年だよりや月ごとの行事予定、各種お知らせについては、利便性を考慮し原則として

「tetoru」での配信に集約してまいります。あわせて、tetoru の配信については、重要度に応じたタイトル表記を行うなど、大切な情報が埋もれないよう工夫してまいります。

## 2. 校内防犯と登下校の安全確保

安全管理に関する厳しいご指摘を真摯に受け止めております。

来校者への対応やパスポートチェックが形骸化していた点について、全教職員で危機意識を再共有いたしました。来客への積極的な声かけを徹底するとともに、パスポート着用を呼びかけていきます。

通学班による登下校と安全指導について、お子さんの安全を最優先に考え、本校では原則として「通学班による集団登校」をお願いしております。これは交通事故や不審者への対策、非常時の迅速な安否確認を目的としたものです。

現在、文部科学省の「学校の働き方改革」の指針により、登下校時の見守りや安全指導は「地域・保護者の皆様が主体となって担うべき業務」として明確化されており、教員による日常的な立番指導等は削減・外部化の方向へ転換しております。こうした中、旗当番や見守り隊の皆様による献身的な活動には、心より感謝申し上げます。

学校におきましても、警察との連携や児童への安全教育を継続するとともに、登下校時のマナーや安全な歩き方について、全校児童へ引き続き粘り強く指導してまいります。通学班に関して、特に個別の配慮が必要な場合や困りごとがございましたら、いつでも学校までご相談ください。

## 3. 教職員の服務規律と安全管理について

教職員による不祥事防止策について、ご心配の声を真摯に受け止めております。本件につきましては、7月16日付の tetoru 配信にてお知らせいたしました通り、以下の対策を徹底し、不祥事防止と安全な教育環境の維持に努めております。

### ①盗撮防止対策

- 撮影は学校指定の機材を使用し、個人で所有するスマートフォン等による撮影は禁止します。
- 教室・更衣室・トイレの点検を定期的を実施し、カメラ等の不審物がないかの確認、及び不審物の隠し場所となり得る荷物等の放置防止に努めます。

- 児童生徒の画像や映像は、校内で厳重に管理し、無断持ち出しを禁止します。

## ②わいせつ行為防止対策

- 教職員に対し、児童生徒との私的な連絡（電話・メール・SNS・アプリケーション等）は禁止します。
- 個別面談は密室を避け、適切な距離を確保するようにします。
- 身体接触は、安全確保や生活介助等やむを得ない場合を除き、原則禁止とします。

## ③児童生徒への教育と支援体制

- 児童生徒に対し、原則として教職員と個人的な連絡先を交換しないよう指導します。
- 児童生徒が悩みや不安を相談できる窓口を整備し、相談担当教員、スクールカウンセラー、生活アンケート等を活用した相談体制の確認・周知を行います。
- 児童生徒に対し、更衣室やトイレなどでの異変に気づいた際は、教員に報告するよう指導します。

改めて教職員一同、襟を正し、お子さんが安心して過ごせる学校づくりに邁進してまいります。

## 4. 行事のあり方と学校公開の充実

運動会の半日実施や宿泊行事の簡素化について、伝統ある種目への惜別の声や、お子さんの活躍をより長く見守りたいという温かいご意見をいただきました。これらのお声は、皆様が本校の教育活動を大切に思ってくださっている証であり、真摯に受け止めております。

実施形態につきましては、近年の記録的な猛暑等による健康被害の防止、および限られた授業時間の中で、お子さんが過度な練習負担なく、日常の学びを両立させることを最優先に考え、現在の形を基本としております。

かつての規模に戻すことは、安全面や教育課程の編成上、現状では困難ではございますが、いただいたご期待に少しでもお応えできるよう、限られた時間の中でもお子さんの輝く姿がより伝わるような種目構成や、学校公開での日常の様子をお見せする工夫など、「今の時代に合った最適な形」を常に追求してまいります。何卒、お子さんの安全と健やかな成長を第一に考えた判断であることをご理解いただけますと幸いです。

授業中だけでなく、休み時間や給食時の様子を見たいというご要望をいただき、ありがとうございます。お子さんの日常の自然な姿をお見せできるよう、次回の学校公開等における時間割設定の工夫を検討してまいります。

なお、給食の時間につきましては、食物アレルギーへの厳格な対応や配膳時の衛生管理、およびお子さんのプライバシー保護を最優先に考え、公開は見合わせております。

すべてのお子さんが安心して給食の時間を過ごせる環境を維持するための判断であることを、何卒ご理解いただけますようお願い申し上げます。

---

## ■その他

### 【保護者の皆様の声】

- 教職員のワークライフバランスが充実するよう、制度面や待遇面での改善を願っている。
- 担任の先生が一生懸命子どもたちのために頑張ってくれており、感謝している。
- アンケートに「わからない」という選択肢を作ってほしい。
- 色鮮やかなお花が校庭にあると印象が良くなる。
- 学校のトイレを綺麗にしてほしい。汚すぎて行けない、行きたくないと子が言っている。
- 以前のように備品類は学校でまとめて購入できると助かる。

### 【その他にかかわる今後の取り組みについて】

日頃より、担任をはじめ教職員への温かい励ましのお言葉をいただき、心より感謝申し上げます。皆様の支えが、日々子どもたちと向き合う教職員にとって、何よりの活力となっております。

#### 1. 施設・設備および環境整備

トイレの環境改善について、お子さんが「汚くて行けない」と感じている現状を重く受け止めております。施設の老朽化という課題はございますが、日々の清掃を徹底するとともに、市教育委員会へ計画的な修繕や環境改善（洋式化の推進等）を粘り強く要望してまいります。

校庭の景観についてのお声、ありがとうございます。現在、本校では花苗ボランティアの皆様のお力をお借りし、子どもたちと一緒に花壇の整備を進めております。自分たちの手で花を育てる活動を通じ、色鮮やかな花々に囲まれた、子どもたちの心が豊かにはぐくまれる環境づくりを地域とともに進めてまいります。

#### 2. 事務・システム面の対応と方針

アンケートの選択肢について、「わからない」を設けてほしいというご意見をいただきました。このアンケートには、もし回答に迷われる項目がございましたら、ぜひお子さんとの会話のきっかけにさせていただき、向山小学校での学びや生活により一層関心を寄せただけければという願いも込めております。ご家庭と学校が共に子どもたちの成長を見つめる機会となれば幸いです。

学習用具等の購入につきましては、現在、校内での現金の紛失や盗難といったトラブルを未然に防ぎお子さんの安全を守ること、保護者の皆様の小銭を準備する負担を軽減し会計の透明性を高めること、そして集金業務を精選し教職員がお子さんと向き合う指導時間を確保することを目的として、現金の取り扱いを極力減らす運用を進めております。今後も利便性と透明性を両立できるよう、適切な購入方法について検討してまいります。

### 3. 教職員の働き方へのご理解

教職員のワークライフバランスについても温かいお気遣いをいただき、痛み入ります。現在、学校では「持続可能な教育活動」を目指し、業務の効率化や働き方改革を進めております。教職員が心身ともに健康で、笑顔でお子さんと向き合えることが、教育の質の向上に直結すると考えております。今後とも、本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。

おわりに、本アンケートを通じて皆様からいただいた一つひとつの言葉を、本校への期待と信頼の証として重く受け止めております。学校と家庭、地域が手を取り合い、お子さんの健やかな成長を支えていくことが、何よりの力となります。今後も開かれた学校づくりに努めてまいりますので、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力をお願い申し上げます。